（別記）

令和８年度平取町農業協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米の面積の割合が約２３％で、転作作物に占める飼料作物が多く、主に町内の畜産農家に供給されている。また、振興品目であるトマトの面積も増加しており、転作田の有効的活用による水田農業の振興と経営安定化の基幹作物として重要な位置を占めている。

しかし、農家の高齢化による農家戸数の減少や、基盤整備がなされている農地が少ないこと、畑作物（麦・大豆等）が定着しておらず飼料作物（特に多年生牧草）やトマトによる転作が大半を占めていることから、水稲面積の維持・ブロックローテーションの構築が課題となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域は降雪量も少なく、夏は道内でも比較的温暖な地域で日照時間も長く施設野菜が適している地域となっている。施設野菜のなかでも振興品目となっているトマトの生産が向いており、国内トップクラスの生産量を誇る「びらとりトマト」の産地となっている。しかし、高齢化や後継者・労働力の不足、優良農地の維持が喫緊の課題となっており、労働力不足に関しては、地理的問題、労働環境や賃金条件などから雇用労働者を確保することが難しい状況となっている。

このことから、先進技術の導入など新たな栽培技術体系に取組み、現状の栽培管理作業の労働負担を軽減し収量の増加に取組むことや、担い手への農地集積、新規就農者の受け入れを推進することで産地の維持・発展を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域の多くは中山間地となっており、まとまった圃場が少ないことや、転作を行っている農地と水稲を作付けしている農地が混在している状況となっており、水利施設の維持管理負担の増加や作業効率の低下等に繋がっている。

また、当該地域は主食用米の産地でもあるが、高齢化や後継者不足、機械の老朽化等により、近年水稲の作付面積が減少し畑作物への転換が進んでおり、水稲面積（水張面積）の減少による、利水、治水及び保水能力低下で起こる水不足等による影響が懸念されるため、水稲（水張面積）の維持についても重要と考える。

そのため、令和３年度に行った「今後の農地の活用方法についてのアンケート」の結果に基づき経営規模（農地）縮小を希望する農家と経営規模（農地）拡大を目指す農家とのマッチングによる計画的な担い手への農地集約、畑地物の本作化に必要な畑地化やブロックローテーション（田畑輪作等）の体制構築のため、情報システムで地域の実情を把握しながら関係機関と連携し、支援内容の情報提供や地域の対応方針協議を進め令和４年～令和８年までに水稲作付を行わないことで交付対象外水田となる農地の遊休化を防ぐ。

なお、当該地域では令和４年に８件、令和５年に３２２件、令和６年度に９０件、令和７年度に２６件の農家が畑地化に取組んでおり、今後畑地化を継続している圃場情報を既存情報システムに組み込むことにより効率的な管理を図る。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

良質・良食味米品種の作付維持や高品質米出荷率 80%以上を目指し、作業の共同組織化や省力化を図りながら、「売れる米づくり」を目指す。

（２）備蓄米

政府備蓄米の買入入札における落札数量に応じた取り組みを推進していく。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、産地交付金を活用し、農業者が蓄積してきた栽培技術や既存農業機械を活用できる飼料用米の作付を図る。

イ　米粉用米

取組予定なし

ウ　新市場開拓用米

取組予定なし

エ　WCS 用稲

取組予定なし

オ　加工用米

主食用米の需要減少が見込まれる中、産地交付金を活用し、農業者が蓄積してきた栽培技術や既存農業機械を活用できる加工用米の作付を図る。

（４）飼料作物

コスト低減、品質の向上等により収益力向上を図る。

（５）麦、大豆、

麦・大豆は地域振興作物としての定着化を図るために、産地交付金による排水整備等への取組へ支援を行い、ブロックローテーションの確立、スマート農業により、効率の向上を図る。

（６）そば、なたね

取組予定なし

（７）地力増進作物

土壌改善による高収益作物の収量増加、飼料作物の品質改善等や、ブロックローテーションの確立に向けた休閑作物として「えん麦」「ひまわり」等の作付を行う。

（８）高収益作物

トマトについては、「びらとりトマト」のブランドを確立していくため、今後も地域重点振興作物として作付推進を図る。

また、町内においてかぼちゃ、ブロッコリー、ネギ等の野菜作付意欲が高まっていることから、支援を検討する。

その他の野菜についても、作付面積の維持を図る。

（９）利用権設定加算対象作物

担い手農家の規模拡大、農地集積の推進を図る。

(10) 耕畜連携

耕種農家と畜産農家が連携することにより、安定した経営の維持を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等	うち二毛作	当年度の作付予定面積等	うち二毛作	令和８年度の作付目標面積等	うち二毛作
主食用米	413.98		424.45		416	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	0		0		23	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	19.43		7.06		20	
麦	8.92		0		15	
大豆			8.92		10	
飼料作物	33.04		42		275	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	0		0		0	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	4.81		4.81		3	
高収益作物	1.47		3.4		7	
・野菜	1.47		3.4		7	
・花き・花木	0		0		0	
・果樹	0		0		0	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他	0		0		0.2	
・てん菜	0		0		0	
・小豆	0		0		0.2	
畑地化	34.68		15.12		259.66	

※　畑地化の面積については、前年度作付面積等は内数、当年度及び令和8年度作付予定面積等は外数で計上しており、記載方法が異なっています。

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	別紙記載	野菜・花き作付助成	作付面積	（令和7年度） 1.47ha	（令和８年度） 2.8ha
2	別紙記載	経営面積拡大加算 （売買）	作付面積 権利移動面積 うち戦略作物 うちその他作物	（令和7年度） 0ha 0ha 0ha 0ha	（令和８年度） 34.00ha 23.50ha 6.20ha 7.00ha
3	別紙記載	経営面積拡大加算 （利用権設定）	作付面積 権利移動面積 うち戦略作物 うちその他作物	（令和7年度） 10.66ha 2.05ha 0ha 2.05ha	（令和８年度） 34.00ha 13.80ha 3.60ha 5.10ha
4	別紙記載	畑作物生産性向上助成	作付面積 取組面積	（令和7年度） 8.92ha 3.69ha	（令和８年度） 8.20ha 5.20ha
5	加工用米 飼料用米	水田活用米穀作付助成	作付面積 取組面積	（令和7年度） 19.40ha 0.00ha	（令和８年度） 32.00ha 5.20ha
6	麦・大豆・そば・てん菜・ 子実用トウモロコシ・小豆	畑作物定着化助成	作付面積	（令和7年度） 8.92ha	（令和８年度） 8.20ha
7	別紙記載	地力増進作物作付助成	作付面積	（令和7年度） 4.81ha	（令和８年度） 2.5ha
8	別紙記載	飼料高騰対策助成	作付面積	（令和7年度） 33.04ha	（令和８年度） 245.00ha
9	別紙記載	飼料作物経営面積拡大加算	作付面積 権利移動面積 うち戦略作物	（令和7年度） 33.04ha 0.00ha 0.00ha	（令和８年度） 240.60ha 23.00ha 4.80ha
10	加工用米 飼料用米	省力化・品質向上等支援	作付面積	（令和7年度） 19.40ha	（令和８年度） 20.00ha
11	加工用米 飼料用米	非主食用米緊急転換支援	作付面積	（令和7年度） －	（令和８年度） 20.00ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：平取町農業協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	野菜・花き作付助成	1	10,000	別紙記載	助成対象作物の作付
2	経営面積拡大加算（売買）	1	35,000	別紙記載	経営面積を拡大するために、売買により取得した圃場での対象作物の作付
3	経営面積拡大加算（利用権設定）	1	15,000	別紙記載	経営面積を拡大するために、利用権設定により取得した圃場での対象作物作付
4	畑作物生産性向上助成	1	45,000	別紙記載	所定の排水整備をし、畑作物の生産・出荷・販売
5	水田活用米穀作付助成	1	45,000	加工用米・飼料用米	復田した圃場において、品質向上等に向けた取組要件を満たすこと
6	畑作物定着化促進助成	1	10,000	麦・大豆・そば・てん菜・子実用トウモロコシ・小豆	助成対象作物の作付
7	地力増進作物作付助成	1	20,000	別紙記載	助成対象作物の作付
8	飼料高騰対策助成	1・3	13,000	別紙記載	所定の取組を実施し、飼料作物を作付
9	飼料作物経営面積拡大加算	1	10,000	別紙記載	経営面積を拡大するために、利用権設定により取得した圃場での対象作物作付
10	省力化・品質向上等支援	1	40,000	加工用米・飼料用米	所定の取組を実施し、対象作物を作付
11	非主食用米緊急転換支援	1	35,000	加工用米・飼料用米	品質向上等に向けた取組要件を満たすこと

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

野菜・花き作付助成
対象作物
トマト、キュウリ（基幹作のみ）、メロン、ほうれん草（基幹作のみ）、花き（カーネーション、スターチス、宿根カスミソウ、キンギョソウ、サルビア、マリーゴールド、ペチュニア、ジニア）、かぼちゃ、アスパラガス、いんげん、えだまめ、ブロッコリー、キャベツ、スイートコーン、すいか、だいこん、たまねぎ、ながいも、なすび、にんじん、ネギ、はくさい、ばれいしょ（食用）、さつまいも

経営面積拡大加算（売買）
対象作物
麦・大豆・そば・なたね・てん菜・子実用トウモロコシ・トマト、キュウリ（基幹作のみ）、メロン、ほうれん草（基幹作のみ）、花き（カーネーション、スターチス、宿根カスミソウ、キンギョソウ、サルビア、マリーゴールド、ペチュニア、ジニア）、南瓜、アスパラガス、いんげん、えだまめ、ブロッコリー、キャベツ、スイートコーン、すいか、だいこん、たまねぎ、ながいも、なすび、にんじん、ねぎ、はくさい、ばれいしょ（食用）、小豆、さつまいも

経営面積拡大加算（利用権設定）
対象作物
麦・大豆・そば・なたね・てん菜・子実用トウモロコシ・トマト、キュウリ（基幹作のみ）、メロン、ほうれん草（基幹作のみ）、花き（カーネーション、スターチス、宿根カスミソウ、キンギョソウ、サルビア、マリーゴールド、ペチュニア、ジニア）、南瓜、アスパラガス、いんげん、えだまめ、ブロッコリー、キャベツ、スイートコーン、すいか、だいこん、たまねぎ、ながいも、なすび、にんじん、ねぎ、はくさい、ばれいしょ（食用）、小豆、さつまいも
畑作物生産性向上助成
対象作物
かぼちゃ・ブロッコリー・キャベツ・スイートコーン・アスパラガス、いんげん、えだまめ、だいこん、たまねぎ、ながいも、なすび、にんじん、ねぎ、はくさい
麦・大豆・そば・てん菜・子実用トウモロコシ・ばれいしょ（食用）小豆、さつまいも

地力増進作物助成
対象作物
えん麦、えん麦野生種、ライ麦、とうもろこし、ソルガム、イタリアンライグラス、ギニア

グラス、スーダングラス、アカクローバー、アルサイククローバー、クリムソンクローバー、ベッチ類、カラシナ類、ハゼリソウ、アンジェリア、マリーゴールド、ひまわり、キガラシ、ステビア、ナタネ、レンゲ

飼料高騰対策助成
対象作物
ロングフェロー、青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、テオシント、スーダングラス、青刈り麦（らい麦及びえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）、青刈り大豆、子実用えん麦、青刈りひえ、子実用とうもろこし、しこくびえ、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス、ハイブリットライグラス、スムーズブロムグラス、トールフェスク、メドーフェスク、フェストロリウム、ケンタッキーブルーグラス、リードカナリーグラス、バヒアグラス、ギニアグラス、カラードギニアグラス、アルファルファ、オオクサキビ、アカクローバ、シロクローバ、アルサイククローバー、ガレガ、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、セタリア、飼料用かぶ、飼料用ビート、飼料用しば、ブルーパニックグラス

飼料作物経営面積拡大加算
対象作物
ロングフェロー、青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、テオシント、スーダングラス、青刈り麦（らい麦及びえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）、青刈り大豆、子実用えん麦、青刈りひえ、子実用とうもろこし、しこくびえ、オーチャードグラス、チモシー、イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス、ハイブリットライグラス、スムーズブロムグラス、トールフェスク、メドーフェスク、フェストロリウム、ケンタッキーブルーグラス、リードカナリーグラス、バヒアグラス、ギニアグラス、カラードギニアグラス、アルファルファ、オオクサキビ、アカクローバ、シロクローバ、アルサイククローバー、ガレガ、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、セタリア、飼料用かぶ、飼料用ビート、飼料用しば、ブルーパニックグラス